

中村広美通信
なかむら
スタジアム



公明党

発行：なかむら広美事務所

〒558-0023 大阪市住吉区山之内1-4-12-1号館B
TEL:06-6115-6618 / FAX:06-6696-0877

令和元年9月定例会(質疑10月10日~)

総務常任委員会 質問骨子

大阪府における危機管理対策

質問 先月発生した台風15号は、関東南部を中心に記録的な暴風による被害をもたらした。この首都圏を襲った台風は、停電が最大で約93万軒、断水は最大で約14万戸と、東日本大震災以降、最大の規模となり、同じ都市圏に住む我々としても、改めて自然災害の怖さを思い知らされたところである。

大阪府においても、昨年6月の北部地震や、昨年9月の台風21号によって大きな被害が発生し、停電が長期化した場合に備えた地域における代替電源の確保がますます重要であると、強く訴えてきたところであり、今回の台風15号は都市部を襲った災害であり、大阪としても対岸の火事としてはいけない。

今後、どのように取組んでいくべきかと考えているのか危機管理室長に伺う。

答弁 大阪府としては、昨年の台風21号の教訓も踏まえ、電力会社に対し、防災拠点や医療機関など優先的に復旧するリストを共有し、代替電源の確保等について強く働きかけてきた。今回の台風15における停電の長期化を踏まえ、停電の早期復旧に向けた自治体との協力のあり方や代替電源のより一層の充実が必要であると痛感。

さらに、電力会社と協議を行い、大阪府においても、非常用電源の確保に向け、民間企業との協力体制の充実に取り組む。又、断水や通信障害についても、給水車や移動基地局車の体制整備について、関係機関としっかりと協議を進め、さらなる災害対応力強化に取り組んでいく。



万博・ビジョン

質問 大阪・関西万博の決定は、多くの府民の皆さんの協力のもとで勝ち取ったものである。この機会を逃すことなく、府民一丸となって、大阪をさらに成長させるとともに、府民生活の向上につなげていかなければならないと思っている。

今、万博推進本部会議においてビジョンの施策の方向性として、健康、持続可能、世界に向けたプレゼンスの向上といった3つの視点が示されているが、府民に向けたビジョンとしていくためには、府民の皆様がイメージが湧き、そして将来に期待できるよう具体的に分かりやすいものをしていかなければならないと思う。将来像を検討するにあたって府民の皆さん、とりわけ、子ども、高齢者、障がい者をはじめ、府民一人一人に聞いてもらう必要があると感じているが、企画室副理事に伺う。



答弁 万博後の未来の大阪を府民の皆さんと一緒に創り上げていくため、大阪の将来像について、府民の皆様から幅広く意見をお聞きすることは重要と認識している。府民の皆さまかの意見募集については今後のビジョンの策定スケジュールを踏まえ、今月末からスタートしたいと考えている。

具体的には、大阪府のホームページに意見募集のページを作成し、ご意見をいただく上で参考となる大阪の現状や将来予測等にかかる基礎資料を掲載の上、府民の皆さまが、これからの大阪にどのようなことを期待するのかといったことを、幅広くお聞きしたいと考えている。

又、次代を担う若者たちから積極的に意見をお聞きすることも重要と認識。府大、市大のほか、公民連携でつながりのある大学等にもお願いし、府職員が直接赴き、ご意見を聴取していく。

健康寿命 延ばすまちへ

JR東海道線岸辺駅の旧国鉄吹田操車場跡地で開発が進む「北大阪健康医療都市」を視察しました。

府議会公明党は、操車場跡地の有効活用を議会で主張し、国立循環器病研究センターの誘致を後押ししてきました。

